



第7回環境情報セミナー

「環境情報でオオムラサキの森づくりを考える」のご案内

環境管理・情報コースでは、環境情報の技術を実践的に環境管理に用いた研究を通し、環境管理が出来るエキスパートを養成しております。

今回は、立正大学大学祭である星霜祭（11/1-3）期間中に、オオムラサキにやさしい滑川の里山再生を考える会として専門家を含め、開催する事になりました。一般の方，高校生の方でもわかるように解説してもらいます。是非ご参集下さい。当日はフィールドにも出かけ、調査を行う予定ですので、ご希望の方は予めご連絡ください。

日時：11/2（月） 13:00 - 14:30（14:30 - フィールド調査）

オオムラサキの森づくりを考える

小林隆人氏（立正大学外部研究員、元山梨県環境科学研究所、
元長坂町オオムラサキセンター研究員）

環境情報でオオムラサキの生育地を管理しよう

後藤真太郎（立正大学地球環境科学部環境システム学科教授
環境管理・情報コース）

場所：立正大学 熊谷校舎 地球環境科学部棟 2F 学生 CPU 室

連絡先：

立正大学 地球環境科学部 環境システム学科 環境管理・情報コース

後藤研究室 E-mail: gotoken@ris.ac.jp, Tel&Fax: 048-539-1653

著作一覧（一部）：

小林隆人(2004.6)：森林面積率とエノキおよびオオムラサキの生息密度との関係，昆虫と自然 39(7)

小林隆人、北原 正彦：栃木県真岡市におけるオオムラサキとゴマダラチョウの幼虫の分布と生息環境,蝶と蛾 56(3) pp.201-212

小林隆人，中静透，北原正彦，久保満佐子（2006）里山. 林はオオムラサキにとって本当に生息適地か？ 山梨県環境科学研究所年報

